

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山形県	代表者名	吉村美栄子
担当者部署	企画振興部	連絡先電話番号	023-630-2095
担当者役職		担当者氏名	
住所	990-8570 山形県山形市松波2丁目8-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	小野 桂二
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	担当者とはいえ、システムに詳しくなく、また、これまでシステム調達の経験もない職員に対して、質疑応答も含め、実際の調達事例等の実例を交えながらわかりやすく説明し、対応していただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	今後もわかりやすい説明をお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月29日	9時00分	12時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	大蔵村役場		最寄駅	新庄駅
	所在地	山形県最上郡大蔵村大字清水2528			
	最寄駅からの交通手段	村営バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	町村職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	5町村のシステムの状況についてはベンダーロックインとなっているために、利用しているシステムの機能や事業者が実施する運用保守の内容等を町村側で把握できておらず、契約書でも明確化されていない状況。そのため、システム共同化の範囲など具体的な検討を進めるためには、システムの現状を職員が把握・理解する必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体クラウドの導入に向けて、町村が求めるシステムの機能や運用保守のレベル等を発注者である町村側できちんと理解し、どのように整理していく必要があるのかについて職員が理解すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	現在使用しているシステムの機能一覧等の整理の仕方、バックアップサーバ設置に関する考え方、見積内容の確認ポイント、仕様書を含む契約内容の改善点、自治体クラウド導入スケジュール等について、幅広く助言していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体クラウドの導入に向けた準備作業として具体的な課題が浮き彫りになり、その解決に向けた方向性について町村職員が理解することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回の助言を踏まえて、今後、資料作成を行う。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 会議の席で、随時、出席者とアドバイザーとの間で質疑応答が行われているため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	システム共同化範囲の具体的な検討、求めるシステム機能や運用保守の内容明確化により、自治体クラウド導入基本計画等が策定できること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

